

**「川越市新たな交通施策（案）」に対する
意見公募手続の結果及び市の考え方について**

1 意見公募手続の概要

- (1) 募集期間 平成30年2月13日（火）～平成30年3月14日（水）
- (2) 募集対象
 - ① 市内に住所を有する者
 - ② 市内の事業所等に勤務する者
 - ③ 市内の学校に在学する者
 - ④ その他この案に関し利害関係を有する者
- (3) 閲覧場所
 - ① 交通政策課（本庁舎5階）、各市民センター、南連絡所
 - ② 市ホームページからの閲覧
- (4) 意見提出方法
 - ① 直接持参
 - ② 郵送
 - ③ ファクス
 - ④ 市ホームページからの電子申請

2 意見公募手続の結果

- (1) 意見提出者 4名
- (2) 意見件数 19件（うち意見反映2件）

3 意見の概要と市の考え方

いただいたご意見とそれに対する市の考え方は、以下のとおりです。

なお、施策に反映されなかった意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

	意見の概要	市の考え方
1	中心市街地（本庁・行政等の機関・金融等商業施設・医療機関等）に鉄道駅を経由しないで直接の交通ネットワークが望まれる。	既存の公共交通への影響を回避する必要があることから、直接中心市街地に移動するのではなく、新たな交通により最寄り駅などを経由し、そこから鉄道や路線バスを利用しての移動をお願いしたいと考え

		ております。
2	市内・隣接地域の総合医療病院への最短の交通ネットワークが望まれる。	新たな交通は、他の乗客との乗合により、それぞれの目的地までの運行形態となるため、必ずしも最短の経路とならない場合もありますが、他のご利用者がいない場合には最短の経路となります。
3	川越駅を取り巻くJR・東武・西武の鉄道駅間をつなぐ交通ネットワークが望まれる。	新たな交通は、交通空白地域の移動手段であり、また、川越駅と他の駅の間は、鉄道以外に路線バスも運行されておりますので、既存の公共交通の利用をお願いします。
4	車移動のできない高齢者、障害者、幼児保育等の利便性を前提とした交通ネットワークが望まれる。	新たな交通は、交通空白地域における市民の移動手段であり、高齢者や障害者等の方もご利用いただけます。
5	「川越市バスマップ」のシャトル運行路線とデマンド型交通政策を総合的に勘案して、前記1～4を前提とした市内循環交通ネットワークの政策が望まれる。	既存の鉄道やバス路線を維持するとともに、川越シャトルとデマンド型交通により交通空白地域をカバーすることで、市内全域の移動手段を確保したいと考えております。
6	障害者料金は、無料とすべきである。障害者と介助者がそれぞれ300円であると600円かかることとなり、障害の無い方は500円であるため、健常者より高い金額となるのはおかしい。市の事業である以上、障害がある人の社会参加を促進する施策を講じ	新たな交通は、乗員が10名のワゴンタイプの車両を想定し、運行も経路を定めず、区域内の決められた乗降場と乗降場を結ぶもので、川越シャトルを含めた路線バスとタクシーの中間的な移動手段を予定しております。 また、交通空白地域の移動手段と

	<p>る必要がある。</p> <p>介護者が必要な障害者が、障害者と同一料金でないこと、障害のない人より高い金額設定になっていることは障害者差別であり許されない。</p>	<p>して、将来にわたって持続可能な交通としていくためにも、障害者及びその介護者にもご負担をお願いするものです。</p>
7	<p>障害者の料金が300円となっているが、障害者の子どもも同一の300円である。障害者の子どもも減額して欲しい。</p>	<p>障害がある子どもの料金については、子ども料金からの半額になるよう見直します。</p> <p>⇒意見を反映いたします</p>
8	<p>医療と商業施設の整備された（移動に負担がある高齢者や障害者にとって1か所で用が足りる）ワカバウォークを地区3のエリアに設定して欲しい。</p>	<p>新たな交通は、決められた区域内を運行することを想定しておりますが、市外の乗降場の設置につきましては、いただいたご意見を踏まえ、今後検討してまいります。</p>
9	<p>各地区のワゴン車両が1台ずつで計3台とのことであり、ニーズが多い地区では台数を増やして欲しい。</p>	<p>新たな交通は、スタート時点では各地区1台を想定しております。今後の利用状況やタクシー等の既存の公共交通への影響等を考慮しながら、2～3年程度で運行台数等を含めた制度の見直しを行ってまいりたいと考えております。</p>
10	<p>概ね2～3年で随時見直しをするとのことだが、この期間にとらわれず、必要な人が利用しやすいように、料金設定や停留所の場所等の見直しを行って欲しい。</p>	<p>現時点では、2～3年程度の見直しを想定しておりますが、利用状況やタクシー等の既存の公共交通への影響等を考慮し、柔軟に対応できるよう、検討してまいりたいと考えております。</p>

11	<p>新たな交通施策がスタートしても、ネットワークが無く孤立している高齢者に、情報が行き届かない可能性があるため、ありとあらゆる角度から周知をして欲しい。</p>	<p>新たな交通は、市民を対象としており、できるだけ多くの方々にご利用いただきたいと考えております。</p> <p>したがって、市広報やホームページ、さらには地域における説明会等を通じまして、事業のPRに努め、周知徹底を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>⇒意見を反映いたします</p>
12	<p>システムのイメージがはっきり分からない。このシステムが良く分かるような説明を望み、住民の利便を第一に福祉の観点を加えた原案を望む。</p> <p>また、市の主催で説明会を開き、計画案等を説明し、住民の疑問に答え、要望・意見を聴取していただきたい。</p>	<p>新たな交通の事業内容が確定しましたら、自治会への説明会、また、地域の会合の際に、説明するお時間をいただいたりするなど、市民の皆さまに分かりやすく事業を説明してまいりたいと考えております。</p> <p>さらには、市の広報紙やホームページなどにより、事業の周知に努めてまいります。</p> <p>なお、この事業は市民を対象としておりますが、高齢者や障害者の方々への割引料金の設定や車椅子を折り畳んでの乗車への対応など、福祉の観点による配慮も行っております。</p>
13	<p>乗降場が最大の関心事であるため、十分に住民の意見を取り入れて、満足・安心できるように市が主体的に取り組んでいただきたい。なお、自治会への丸投げはあまり賛成できない。</p>	<p>交通空白地域の集落内に、今後地域の乗降場を設置する予定であり、現時点では概ね200から300メートル間隔で設置することを考えております。</p> <p>なお、乗降場につきましては、地域の方々の意見を参考に、今後決定してまいりたいと考えております。</p>

14	<p>目的地へ行くのは良いが、帰りはどうなるのか不明である。</p>	<p>新たな交通を利用するためには、事前の予約が必要となります。</p> <p>なお、始発便を除き、当日の予約も可能でありますので、帰りの便は、予約方法をうまく使い分けていただければと考えております。</p>
15	<p>前日の予約がうまく取れないことへの対応。</p>	<p>実証実験の際は、1週間前から予約を取ることができました。</p> <p>今回につきましては、もう少し早い段階から予約できるよう検討してまいります。</p>
16	<p>事業の詳細を決定する前に住民に説明会を開催し、案を示し、使い勝手の良い制度とすべきである。</p>	<p>交通空白地域における移動手段を可能な限り早期に用意することを最優先としており、詳細を決定する前の段階で、住民説明会を開催することは現在考えておりません。</p> <p>なお、新たな交通の事業内容が確定しましたら、自治会への説明会、また、地域の会合の際に、説明するお時間をいただいたりするなど、市民の皆さまに分かりやすく事業や利用方法を説明してまいりたいと考えております。</p>
17	<p>過去の実証実験の際は、予約の取り方が、前日までとなっていたと思う。診察が終わらないと帰りの時間が分からないため、当日も申し込めるようにしてほしい。</p>	<p>過去の実証実験において、始発便を除き、当日の予約は可能でありました。今回につきましても、同様の運用を図ってまいりたいと考えております。</p>
18	<p>実証実験でも分かるように、高齢者の利用が多いと思うので、高</p>	<p>交通空白地域の集落内に、今後地域の乗降場を設置する予定ですが、</p>

	<p>齢者が利用しやすいように乗降場所はこまめに設定して欲しい。</p>	<p>現時点では概ね200から300メートル間隔で設置することを考えております。</p>
19	<p>利用者が増え予約が取りにくくなった際に、車を増やすなどの対応はどのようになるのか。</p>	<p>利用者が増大し、予約が取りづら い状況となった際は、予約方法の変 更や車両の増加などの検討を凶っ てまいりたいと考えております。</p>